



---

## 課題および本日の論点

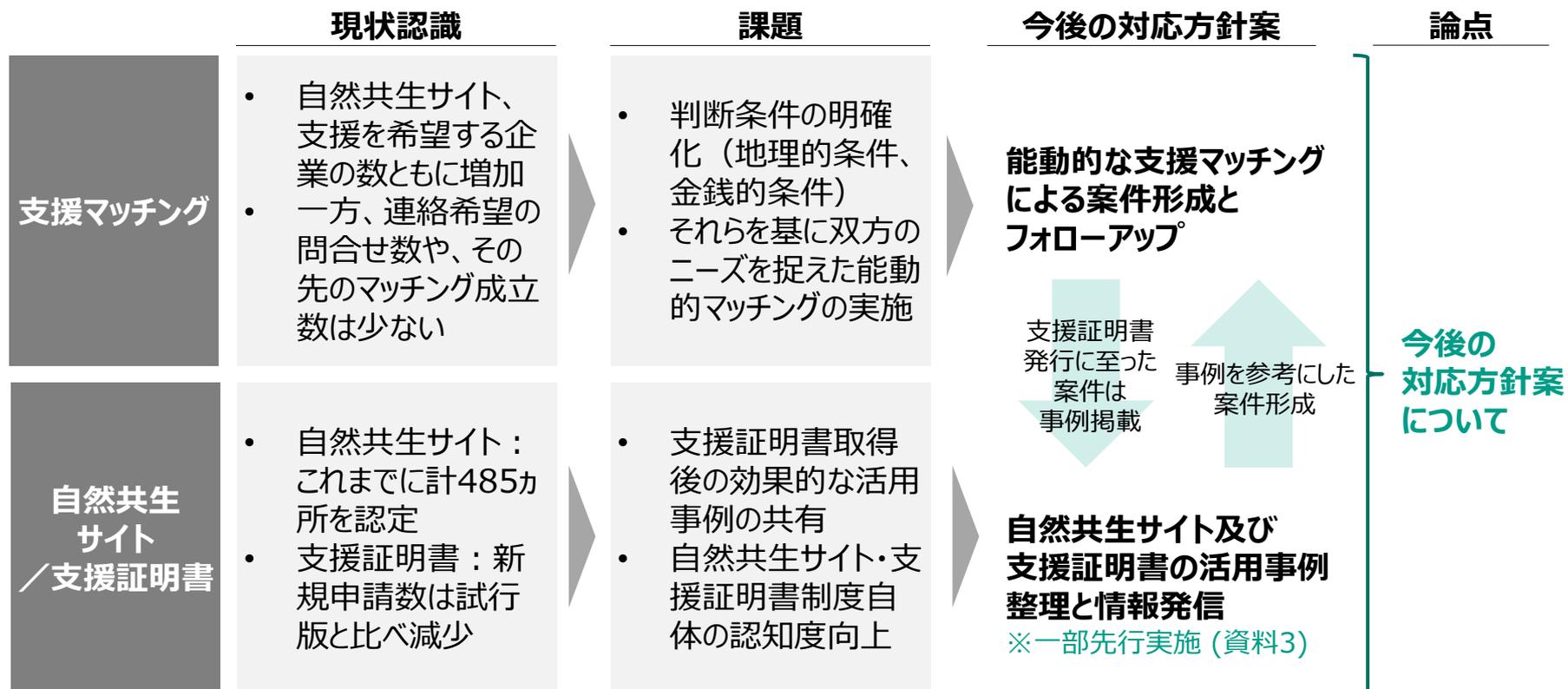
---

令和8年2月27日



# 1. 本日の論点

- 支援マッチング、自然共生サイト及び支援証明書の現状及び課題を踏まえ、対応方針案を整理した。
- 本日は、支援証明書の現状および課題を踏まえた「今後の対応方針」について、ご意見をいただきたい。



## 2. 【論点】支援証明書制度の効果的な運用に向けた今後の方針

- 本日は、支援証明書の現状および課題を踏まえ、「今後の対応方針」について、今後の持続的・効果的な運用に向けてご意見をいただきたい。
- また、「2. 自然共生サイト及び支援証明書の活用事例整理と情報発信」については、資料3で先行的にとりまとめた。上手く制度を活用して効果を得ている事例を示すことで、これから制度を利用しようとする団体・企業の後押しになると考えているが、今後、事例整理するにあたって、含めるべきポイントがあればご意見頂きたい。

対応方針	具体的な施策	
	短期	中・長期
<b>1. 能動的な支援マッチングによる案件形成とフォローアップ</b>	<b>(1) 能動的なマッチングによる、支援証明書につながる案件形成</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ マッチング希望者のコンタクトを待つだけでなく、支援企業に響くストーリー設計・訴求を意識した積極的なはたらきかけをしてマッチング成立数を増やす。</li> <li>・ 今後のさらなるマッチング案件形成対応向上のためのフォローアップとして、成立数や意見をアンケート等で把握する。</li> </ul>	<b>(4) 見える化システムの機能改善により支援策と対応技術のマッチング強化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「見える化システム」において、活動手法・技術に関する情報発信機能を強化する構想があることを踏まえ、当該技術を提供可能な支援希望者との紐づけ等も検討し、マッチングへの活用を図る。</li> </ul>
<b>2. 自然共生サイト及び支援証明書の活用事例整理と情報発信</b>  <small>※一部先行実施(資料3)</small>	<b>(2) 事例の発信・共有による制度の認知度向上</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然共生サイトの認定や支援が企業価値向上につながりうる事例等について、業種別や支援先サイトの属性別など、支援事例を類型化して事例を整理・発信し、新たに支援に取り組む企業を増やす。</li> <li>・ 継続的な情報発信により、自然共生サイトや支援証明書の認知度向上を図り、社会的な価値を高める。</li> </ul> <b>(3) 企業版ふるさと納税を活用した事例創出・普及拡大</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然共生サイトを抱える地方公共団体と連携し、企業版ふるさと納税を活用した自然共生サイトの支援事例創出・発信による活用の普及拡大。</li> </ul>	<b>(5) 生物多様性の価値評価との接続</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「生物多様性の価値評価に関する検討会」における議論の進展に伴い、「自然共生サイト」や「支援証明書」における生物多様性の価値のスコア化等の試行を検討。</li> <li>・ 活用スキームによっては、回復タイプ・創出タイプの自然共生サイトへの支援に対する支援証明書の発行時の運用について検討する必要がある。</li> </ul>